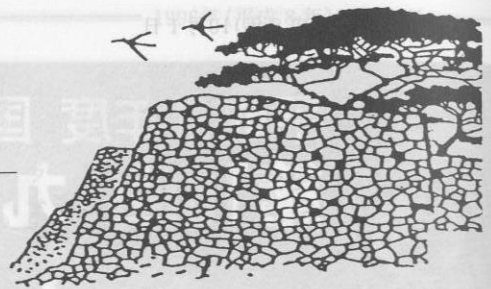


# カブク

◆ 広報 10  
1996  
No.251



●今帰仁村の人口  
男 4,832(-5) 女 4,797(-19) 計9,629(-24)  
世帯数 3,226(-4) 平成8年8月末現在



## 嘉陽マツさん 全国長寿10位 マーガ子孫百人

女性長寿沖繩県一位、  
全国長寿十位に嘉陽マツ  
さん(呉我山出身)百十  
歳。

マツおばあさんは現在  
特別養護老人ホーム乙羽  
園で風邪一つひかず元氣  
に暮らしている。一番の  
楽しみは食事の時間で、  
ブタ肉と野菜が大好物。

子孫は子四人、孫二十  
六人、曾孫六十三人、玄  
孫六人合せて九十九人。

村民の皆さん、マツさ  
んにアヤツカッテ健康で  
長生きしましょう。

### 今帰仁村民憲章

- 一、みんなで守ろう 恵まれ  
た自然と文化遺産を
- 一、みんなでつくろう うるお  
いとやすらぎのある村を
- 一、みんなで育てよう のび  
ゆく力と豊かな心
- 一、みんなでめざそう 健康  
で希望に満ちた村を
- 一、みんなで築こう 平和で  
明るい活力のある村を



「家庭生活をより楽しく豊かにするために家族一人ひとりがどうすればよいか」をテーマに、第二回家庭教育親子パネルフォーラム(村教育委員会、村学対家庭地域教育委員会主催)が八月三十一日、村コミュニティセンターで開かれた。児童生徒八人、父母二人がそれぞれ家族の生活の様子や、出来事を発表した。

会場には二百人余りが参加、ほのほのとした家族の絆に感動し、共感の拍手が送られた。

### 親子パネルフォーラムを開催 共感を呼ぶ 家族の絆



▲家庭生活の様子を発表するパネリストたち

フォーラムは西島一将村教育長のあいさつの後、渡久山浩司君(今帰仁中二)が「家庭生活におけるテレビの見方を通して広く考えてみよう」と提言。続いて与那嶺徹弥君(兼次小六)が発表のトップバッターとして「ぼくの家族」と題して、菊作りをしている父母と、それを手伝う兄弟の温かい家族の様子を述べた。玉城由里さん(今帰仁小六)は小学校一年から毎日書き続けている日記は私の友達、そして家族の愛情が伝わってくる宝物と日記を通した親子の絆を強調した。与那翼君(天底小六)は四人の兄弟をかいじゅうにたとえ、父母の温かさや家庭での楽しさを語った。

神谷あゆみさん(兼次中三)

は妹が自分と比較され非親しているときに、家族の励ましで立ち直り、愛のある家庭に育ったことに喜び。新城田君(今帰仁中二)は家庭での仕事をそれぞれ分担、隠し事の無い明るい家庭の様子を、真

栄田亜美さん(湧川小五)は父母の頑張りや尊敬の念を抱きながら家族で協力し、助け合うことを、玉城夕貴さん(古宇利中三)は父の病氣入院で家族が支え合い、健康が家族への思いやりと発表。宮城正志君(北山高二)は、父母が農業に従事、一生懸命に働いている姿に誇りを感じ、妹といっしょに協力し支え合う家族の様子を述べた。続いてPTAを代表して、島袋寿夫さん(今帰仁中PTA上連天)は「わが家のしつけ」として善悪の判断、相手を思いやる心、がまんする力の三つを小さいうちに身につかせ、決して手をぬくことほしなと語った。小那覇碩子さん(天底小PTA渡喜仁)は「愛さしあえる家庭をめざして」と題して十人の大家族の中で、五人の息子の子育てに悩みながらも、家族の温かい愛で心が晴れ、家族が心一つにすることが大事と述べた。その後、質疑応答が行われ、参加者からは「明るい家族の様子が有々とうかがえ、感動した」「自分の家庭にも取り入れたい」などと、多くの感想が述べられ、フォーラムは最後まで感動の嵐に包まれていた。

## 平成8年度 国民体育大会 第16回 九州ブロック大会 ホッケー競技を開催



### 北山高校男・女 成年男・女全種目一勝 準決勝で惜しくも敗れる

平成八年度国民体育大会第十六回九州ブロック大会ホッケー競技が八月十七、十八日の両日村総合運動公園ホッケー場で開催。それに先立つ十六日午後、村コミュニティセンターで競技開始式が行われ、九州各県から選手、役員約六百人が参加。上間博安村長は「ホッケーを愛する情熱で暑さを吹き飛ばし練習の成果を十二分に発揮され、悔いのない熱戦を期待します」と激励の言葉を述べた。舞台では、いまじん太鼓のエイサーが披露され選手、役員を歓迎した。

#### 心なりの汗を流して勝利を収めた

平成八年度国民体育大会第十六回九州ブロック大会ホッケー競技には、九州各県の予戦を勝ち抜いた成年男・女、少年男・女の4種別に三十チームが出場。沖縄県からは村内の選手を中心に編成された沖縄選抜の成年男・女、北山高校の男・女計四チームが出場した。

大会初日、地元の大応援をバックに一番目に出場した成年男子は佐賀と対戦し、6対2で快勝。他の種目に弾みをつけた。少年男子の北山高は大分と対戦。先行され苦しい試合展開となったが4対2で逆転勝ち。成年女子は熊本と対戦、終始相手を圧倒し7対0の楽勝。最後に出場した少年女子の北山高も佐賀に4対1で快勝した。

二日目は準決勝と決勝が行われたが、沖縄県は四種別とも準決勝で惜敗した。優勝は成年男子と少年男子が鹿児島県、成年女子が大分県、少年女子は福岡県。

大会には中学生や高校生の補助員をはじめ、多くの役員が協力があった。村婦人会(山内晴子会長)は、パンや湯茶で選手、役員を持て成し、喜ばれた。

大会は村民皆様の心あたたまる協力で無事終了した。ありがとうございました。



北山高校(男)



北山高校(女)



沖縄成年(男)



沖縄成年(女)

### 県民投票結果

有権者数	909,832	
投票総数	541,638	59.53%
賛成票	482,538	89.09%
反対票	46,232	8.54%
無効票	12,856	2.37%

投票所	有権者数	投票総数	投票率
第1投票所(今帰仁小区域)	2,543	1,678	65.99
第2投票所(兼次小区域)	1,703	1,191	69.94
第3投票所(天底小区域)	1,545	960	62.14
第4投票所(湧川小区域)	905	510	56.35
第5投票所(古宇利)	285	160	56.14
合計	6,981	4,499	64.45

### 日本初の県民投票 今帰仁村88.49%が賛成

日米地位協定の見直しと基地の整理縮小について賛否を問う県民投票が九月八日行われ、開票の結果、賛成票が四十八万二千票を越えた。これは投票をした人の実に八九%が基地縮小を選択した。

本村でも五投票所で投票が行われ、即日開票された。有権者数は六千九百八十一人で投票率は六四・四五%。基地の無い本村でも県平均を上回った。



学対シリーズ



# 私の朝読み・夕読み

天底小六年 岸 本 江利香

「天底小学校を背負う三十七人の志士たち」この豊かな感動がひきまわった言葉を、学級開きで出会いました。志士とは、りっぱな志を持つ人のことです。最

高学年の迫力が身にしみて、今までの自分を反省し、より高い自分を築かねばとスタートしました。

おばあちゃんにほめられ、ニコニコ笑顔の毎日でした。でも、中・高学年になると大きな声の本読みがだんだんと黙読に変わっていききました。なぜだろうか。声を出しての朝読み・夕読みや読書はとても大切だとわかってはいるものの、どうしても黙読に変わります。

低学年のころは大きな声で本を読み、同じ単元の場所をおぼえるほど読んでいました。そして、得意顔でスラスラと大きな声で読むと両親や

五・六年生になると、朝読み・夕読みは続かなくなりました。それではいけないと思い、新学期になると、必ず計画の中に、朝読み・夕読みが入りますが、計画ばかり立て、実践ができずになやんでいるところ、母から「今の状態では、朝読みはこんなんだね。きちょうな時間だから、あまり意気こまないで、みじかい詩なんかを読んで、夕読みは、今学習している国語の本読みをすると、一石二鳥で勉強もスムーズにいくと思うよ。さーファイト！」と、励まされました。

そんな時に、担任の先生から「毎日規則正しい生活をしてよ」ということで生活リズム表「私の一日」と「私の家庭学習」が配られました。生活リズムを整えるいい機会だと思い、さっそく朝読み・夕読み・読書を取り入れて計画をたてました。

ていこうと心にちかかって、今日もがんばっています。「継続は力なり」継続でき

## 大きな声で本読みすれば 心もはずむ 今日もまた

古宇利小五年 小波津 俊

湧川小6年 ▼山城 知砂貴

▲今帰仁小6年 松田 悠也

### 継続は力 朝読み・夕読みでみがこう心

古宇利小六年 金城 祐美

## 「朝読み・夕読み」作文・標語・ポスターコンクール優秀賞

## 第14回青少年の主張大会 優秀賞

### 体験活動のすばらしさ



兼次中3年 祖 堅 しのぶ

「兼次中学校、変わったね」「だいぶ良くなったね」とい

う声、あちこちで聞かれるようになりました。数年前までと違うのです。なぜ、そんな急が変わってきたのかと多くの人が思うこととでしょう。具体的にその原因をあげるとしたら、私は、体験活動の「ひまわり活動」ではないかと思えます。それは、去年四月に行われたシンポジウムから始まります。

シンポジウムとは、前年度の生徒会活動を振り返り、今年はどうな活動をしたかかを、生徒自ら考え、発表し合う行事です。そこで話し合われたことをもとに、学期毎に、学年単位で、くぼの御嶽散策や、老人ホーム訪問、学校内のプラントナーに花の植えつけなどを計画し、実践しました。

まず、くぼの御嶽散策では、地域の自然に触れ、自分の生まれ育った今帰仁村に、より関心を深めようということと計画しました。そこには、初めて見る物や、新たな発見がありました。いろんな形をした木々や葉っぱ、そして、その周りの鳥や虫などの生き物すべての物が美しく、また素晴らしく感じられたのです。みんなの背中は、汗と雨のためにすべってころんで土に汚れていました。頂上にたどり着いた時のみんなの顔は、笑いと満足感に満ちあふれていました。そして今までに味わったことのないような感動が「わーっ」と込みあげてきました。頂上から見た、私達の地域、ふるさと今帰仁村は、とほうもなく美しく、青い空、マリンドールの美しい海、輝く太陽、真っ赤なハイビスカ

ス、真っすぐ伸びているフクギ、それはすべて私達沖縄県民に与えられた財産であることに改めて気づかされました。又、その美しい自然に恵まれた所に生まれ、育ってきたことに本当に感謝しました。その素晴らしい自然を私達の手で必ず守っていこうと心に誓ったのです。

二つ目の老人ホーム訪問では、お年寄りと交流を深め、優しさを、思いやりの心で接することができたと思います。車イスやベット掃除、窓ふきや庭、トイレ掃除など、誰一人文句言う人もなく、こんな小っぱけなことでも、人の為に役だっていることに気づき、こんなにも喜んでもらえるのなら、今からどんなことでもできそうな気がしました。この老人ホーム訪問を終え、ボランティアとは普通、人の為にやっていることなのですが、やっている時は、少々難儀でも、やり終えた後、必ずその何倍もの感動が心に返ってくることに、自分が何かの役に立っていた喜びは、やった人にしかわからないことも初めて知りました。そのことを私は、大勢の方にぜひ知ってもらいたいと思います。



### 「無年金者」の発生を防止し、国民年金受給権を確保することを目的とした平成八年度村国民年金推進対策協議会

## 国民年金推進対策協議会を開く

は九月五日午後、村コミュニティセンターで開かれ、上間博安村長から委員六十五人に委嘱状が交付された。続いて議事に移り、事業計画の承認や重点目標の承認などを審議全会一致で可決した。

なお、村民の平成七年度の国民年金受給状況は、受給者数二千二百六十六人、受給額十二億八千二百万円、老後生活の主柱として大きな役割を果たしている。しかし、無年金者(年金を貰えない人)七十人、無年金予備軍二百十人と老後に不安を抱えている人も少なくありません。



# 「敬老の日」を祝う

## 老齢人口 2,173人 総人口の22.5%

今帰仁村の六十五歳以上の老人は七月末現在、二千七百七十三人と昨年より六十五人増えた。総人口に占める割合は二二・五％、うち女性は千三百三十五人で六割以上を占めている。百歳以上のお年寄りには全国十位の嘉陽マツさん(百十歳)を含め七人。県内でも上位に入る長寿村である。

「敬老の日」を前に十三日、村在住の七十五歳以上のお年寄りをお招きして敬老会、村主催)が村コミュニティセン



▲いつまでも元気で長生して楽しい人生を送って下さい

ターで催され、六百人が集まった。上間博安村長は「社会活動奉仕活動にも積極的に参加され、これまでの経験を地域づくりに活かしていただきたい」と述べた後、「いつまでも健康に気をつけられ、楽しい人生を過ごしてください」と労をねぎらった。また、小那覇安義君(天底小六)は「家にはおじいさん、おばあさん、ひいおばあさんがいて、昔話などを聞かせてくれます。また、おやつにはポーポーをつくってもらったりとても幸せです」と語った。終わりに

「イチマデイン、チャーガンジューサ、シミソーチ、ナガイキシチトラシミソーリ」と方言で感謝を表わした。式典終了後、舞台では天才少年金城真次君(九歳)らによる琉舞や民謡が披露され、集まったお年寄り達は、司会のユーモアたっぷりの進行に笑い、真次君のすばらしい芸に感激。涙を浮かべながらも「チユーヤ、ヌチグスイチャーサ。長生キヤ、スーシエサー」と満足に浸っていた。



▲孫と楽しく過ごした

### カジマヤー祝13人

- 上間 ナベ(今泊三二九四)
- 田場 マチ(仲尾次五五〇)
- 上間 久志(崎山六五二)
- 上間 マチ(平敷一〇六二二)
- 金城 ウタ(越地二二五一一)
- 津波古ツル(湧川二二二六)
- 渡嘉敷ナヘ(湧川一六六一)
- 田港カマド(天底三二一六)
- 田港 ウト(天底二二一〇)
- 仲尾 マツ(天底二二二二)
- 運天 伸(天底二二二二)

### トウカチー祝35人

- 我喜屋カメ(天底二二二二)
- 安谷屋ウシ(勢理客四七七)
- 嘉手納マツ(今泊八)
- 仲尾次マツ(今泊三三一一)
- 仲宗根ムタ(今泊三〇六五)
- 玉城 苗子(今泊三二八四)
- 仲宗根マツ(今泊三〇一一)
- 金城 恵美(今泊三二六二)
- 上間 美代(今泊三一四)
- 新城 マツ(今泊一三七)
- 諸喜田ハナ(兼次二四)
- 内間 善助(諸志一九九)
- 島袋 マサ(諸志一八〇)
- 島袋 松人(諸志四一三)
- 島袋 梅(諸志四一三)
- 仲宗根マツ(与那嶺四二八)
- 城間 カナ(仲尾次三七三)
- 大城 源福(仲尾次六一三)
- 上間 カメ(崎山一九四)
- 大城 甚正(平敷一三三)
- 大城 静(平敷一三三)
- 大城 タケ(平敷八七)
- 玉城 ハナ(越地二二二二)
- 兼次カマド(謝名一五)
- 大城 マツ(謝名七五)
- 仲田 周(仲宗根三一一)
- 島袋 ツル(玉城四一)
- 幸地マカテ(玉城二六)
- 新里 フミ(湧川一八六七)
- 崎濱 八重(天底二二二二)
- 幸地 良光(勢理客四七九)

### 100歳以上の高齢者



103歳 久田マツさん(天底)



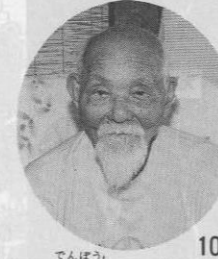
104歳 諸喜田善次郎さん(崎山)



110歳 嘉陽マツさん(呉我山)



101歳 喜屋武カナさん(天底)



101歳 奥原傳寶さん(湧川)



102歳 運天ウトさん(運天)

島袋ナベさん(仲尾次250)は9月24日、老衰のため102歳でお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

### 第25回村畜産共進会

畜産農家の経営安定と畜産振興の発展を旨とした第二十五回村畜産共進会は九月十一日、村家畜セリ市場で開催された。

共進会には、畜産農家が手塩に掛けて育てた肉用牛(黒毛和種)五十六頭が出品され、六種別で審査が行われた。その結果、県農林水産部長賞(成雌第二類)に我那覇隆儀さん、畜産公社理事長賞(若雌第一類)に仲宗根久善さん、国頭郡農業共済組合長賞(成雌第一類)に平山良昌さん、和牛改良組合長賞(若雌第二

### 肉用牛五十六頭を出品 発育や体格年々向上

平成七年十二月現在、本村の肉用牛は飼養戸数七十戸。頭数千五百三十二頭で戸当りの飼養頭数は二十二頭。県内で一番目に多い飼養頭数である。上位八位までが先島・離島市町村で占められ、これを考慮するとすばらしい成績である。

- 優 等 金城吉信(仲宗根)
- 優 等 諸喜田達彦(勢理客)
- 優 等 与那覇幸人(崎山)
- 優 等 松田達男(仲宗根)
- 肉用牛若雌第一類
- 優 等 仲宗根久善(謝名)
- 優 等 金城吉信(仲宗根)
- 優 等 諸喜田清幸(玉城)
- 優 等 我那覇隆久(謝名)
- 肉用牛若雌第二類
- 優 等 国吉清重(謝名)
- 優 等 当間正安(与那嶺)
- 優 等 高田 勝(運天)
- 優 等 上間久仁(越地)



▲若雌第一類で優秀賞に輝いた仲宗根久善さんのきたさち号

- 肉用牛成雌第一類
- 優 等 平山良昌(渡喜仁)
- 優 等 平山良智(渡喜仁)
- 優 等 与那嶺スエ子(渡喜仁)
- 優 等 高田 勝(運天)
- 肉用牛成雌第二類
- 優 等 我那覇隆儀(謝名)
- 優 等 高田 勝(運天)
- 優 等 仲宗根久善(謝名)
- 優 等 兼次佐範(呉我山)



# 古宇利の字(アザ)名と小字

古宇利島は海上に浮かぶ今婦仁村の島(字)である。一四七一年の『海東諸国紀』の「琉球国之図」に古宇利島のことを「郡島有人居」と記してある。郡島はクイシマに郡島をあてたのか、それとも「こほりしま」の音に郡島をあてたのかは定かではないが、一六〇九年の「琉球渡海日々記」には「こほり」「絵図郷村帳」では「沖ノ郡島」一七二三年の「琉球国由来記」では「郡村」、近世の中頃から「古宇利村」と現在の字が当てられるようになった。郡や古宇利と記して「クイ」や「クイ」と発音していた節がある。例えばベリ遠征記ではKooi、「フオルカード日記」にはKooieと記してある。現在でも古宇利島のことをクイジマやワイジマと呼んでいる。クイやワイは越えることをクイルン、あるいはファイルンということから、海を越える島や海を越えた島のことを意味するであろう。

う。また、今婦仁間切の地頭代になると古宇利親雲上の名を賜り、同時にメーワイヤーやワイヤーの屋号がつく。古宇利は古宇利原・横田原

・東原・宇辺ノ花原・上原・雨底原・中原・根が底原・喜屋原・野路原・西原・道ノ下原・立ち原・流し原・宿ノ前原・渡海原・城原・仏ノ上原

・大当原の十九の小字からなり、「バーイ」と呼んでいる。現在の小字名と小字域は明治三十六年の小字を踏襲している。集落は島の南側の古宇利原に発達し、小字名に東・西・中・上・前・下など方向や位置を示す呼び方が目につく。雨底原はアマジャフ、根が底原はニガジャフと呼び、ジャ

フは凹地を意味する。この二つの小字は島の中央部に位置し、大雨になると一帯は水がたまることがあったという。野路原(ヌルバーイ)は神役であるノロの土地(ヌル地)があった地域、流し原は島の北西にあり別名クルスと呼ばれ、クルスは黒潮(深い海)に面していることに由来するのだろう。

古宇利には蔡温の時代(今婦仁間切は一七四三年頃)に測量図根点として使われた石(原石)がある。古宇利島には「ヲいれ原」と「ほあらさき原」の二つの原石(印部土手石)が存在する。「いれ原」は西原と思われるが、その原石は現在の「立ち原」にあり、また「あらさき原」の小字は現在ないが、アラサチの小地名が残っている。それは、原域の組み替えがなされたことを示している。



▲集落の発達した古宇利島の南側(平成5年8月撮影)

このように字名や小字名をひもといていくとシマの歴史やかつての原域や土地利用が彷彿してくる(写真は平成五年撮影)。また、シマの方々の字や小字に対する認識が同等に興味深い。  
仲原 弘哲  
(歴史文化センター)

# 保健婦だより

肝臓は臓器の調整工場

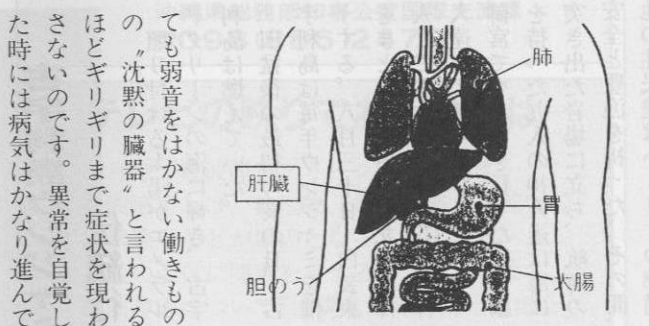


ホウオウ木のあざやかな花にそそぐ陽ざしも少し和らぎ、朝夕は秋の風を感じさせる今日今頃、村民の皆様は住民検診も終わりホッと一段落され、今度は結果が気になるころではないでしょうか。村の有所見者の割合の傾向をみてみますと毎年糖尿病・疑念が最も多く次いで肝疾患・疑念、アルコール性肝疾患・疑念、高血圧と続いています。肝疾患の有病率は全国的にも増加傾向にあり21世紀の国民病と言われています。そこで、肝臓病についてよく知り予防していくことが大切ではないで

## 肝臓病をよく知ろう

しょうか。今回は肝臓病について触れたいと思います。黙々と働き続ける「沈黙の臓器」肝臓は人間の臓器の中で最も大きく、その重さは成人で1.2~1.5kgもあって、約三千億個という肝細胞から成り立っています。この細胞は、一部を切り取っても再び元の大きさに戻る驚異的な再生能力をもっており、しかもタフで我々強く少しばかり異常があっ

いるというのが実状でいくらか回復力があっても病状が進んではその能力を発揮するのは難しく、完治しにくくなりま



- ①栄養素を分解・合成する「代謝作用」
  - ②体に有害な物質を無害にする「解毒作用」
  - ③体の中を流れる血液の「循環調節作用」
  - ④消化吸収を助ける「胆汁の生産」
- 肝臓病の種類  
ウイルス性肝炎  
感染したウイルスの種類によつてA型肝炎、B型肝炎、C型肝炎があります。また六カ月以内に治癒する一過性のものは急性肝炎、六カ月以上長びく持続性のあるものを慢性肝炎といいます。急性で非常に

●肝機能検査を受けましょう。早期に肝臓の病気を発見することはなかなか難しいというのが現実、大事に至らないうちに早期発見するためにまた、現在の肝臓の状態をチェックするために定期検診を受けることです。もし結果が

## 仲尾次が優勝

### 第一回婦人キックベースボール



▲ルールもそつちのけ、ハッスルお母さん。

第一回婦人キックベースボール大会が(主催、村教育委員会)が九月十七日、村総合運動公園でナイターで行われ、十三チームが参加した。お母さん方は日頃の運動不足を解消しようとハッスルするが、珍プレー続出。決勝戦は今泊と仲尾次の対戦となり、仲尾次が8対6で接戦を制した。



### 青年海外協力隊員募集説明会

▶日時: 10月24日(木) 18時30分～  
 ▶場所: 名護市中央公民館  
 ▶内容: 派遣のシステムや待遇等について詳しく説明します。また、協力隊広報映画の上映や隊員OB・OGの体験発表もあります。入場料、予約等は一切不要です。お気軽にどうぞ。  
 ▶詳細問い合わせ  
 国際協力事業団沖縄国際センター  
 ☎098(876)6000  
 沖縄県総務部知事公室国際交流課  
 ☎098(866)2479

### テレビの映りでお困りでは

10月は「電波障害クリーン月間」です。電波障害とは、建造物、電気雑音、送配電線、不法無線局などが原因となって、テレビ・ラジオ放送の受信に障害を与えることを言います。電波障害について「沖縄電波障害防止協議会」又は「放送局」へご相談下さい。沖縄電波障害防止協議会  
 住所: 〒900-97 那覇市東町26-29  
 沖縄郵政管理事務所電気通信監理部電波課内  
 電話: 098-865-2307

## 兼次小創立百周年 平成11年

兼次小学校は明治32年4月に創立。平成11年4月に100周年を迎える。平成8年5月に百周年記念事業期成が発足。会長に元校長でOBの山内昌敬氏(与那嶺429)が就き、記念誌の発行、校庭の整備・美化・体育館の設備・備品、体力づくり屋外学習施設などの事業を行うことを確認した。事業費は20,500,000円。

なお、期成会では古い記録や写真の収集、募金などを広く呼びかけています。皆様の物心両面からのご支援、ご協力をお願いします。

連絡先: 今帰仁村字今泊3933  
 兼次小百周年記念事業期成会  
 ☎0980-56-2548



山内昌敬会長  
 期成会結成総会

記念事業期成会を結成

### 国営沖縄記念公園開園20周年事業

## 「やんばる村まつり」

◎10月12日(土)・13日(日)

◎国営沖縄記念公園・おきなわ郷土村  
 12日の午後3:00から今帰仁村の伝統芸能仲尾次の亀の申。湧川の路次楽・今泊の棒術が出演。

### 10月1日～12月31日



赤い羽根  
 共同募金スタート  
 全国統一スローガン「ありがとう、みんなのきもち」のもと、10月1日より赤い羽根共同募金運動がスタートします。今年、今帰仁村内で2,562,000円の目標額を設定し、多くの方々への協力を呼びかけています。

赤い羽根  
 共同募金スタート

い  
 寄  
 付

- 村社会福祉協議会へ
- 神谷源清さん(湧川二一)
- 二より母、フミさんの香典返しとして五万円。
- 村育英会へ
- 高良武裕さん(大阪府堺市)
- 菱木七一五(謝名出身)より人材育成へ二十万円。
- 新城保子さん(那覇市泉崎二一)より人材育成へ三十万円。

※ご芳志ありがとうございます。

## 共に興さな、文化村今帰仁 第14回村文化祭

平成8年11月2日(土)・3日(日)  
 村中央公民館・村コミュニティセンター

### ◎作品募集

絵画、写真、書道、陶芸、染色、民芸、盆栽、生花、手作り料理など

※問い合わせ: 村教育委員会 ☎56-2645  
 2647

平成8年10月18日(金)  
 20日(日)

### 名護市民会館

特産品・民芸品  
 緑化木・花き  
 果樹・観葉  
 アトラクション...

第十二回  
 やんばるの  
 産業まつり

唐船ケージを持つ九人の神人はシラサの岩に立ち、塩屋に祈る。



古宇利島ウンジャミ、豊年祭でにぎわう  
 伝統行事を継承

照り付ける太陽がエメラルドグリーンに輝き、古宇利島は燃えていた。旧盆後の最初の亥の日、古宇利島は毎年ウンジャミを催す。八月三十日、白装束をまとった旗を持った九人の神人とごに正座する五人の神人達がアサギ、フンシヤ、御宮でウガンを行った後、旗を持った九人の神人達は海に突き出した岩場に立ち、航海の安全と豊漁を祈った。その間、他の住民達はハーリーの準備

に多忙し。神人達の御願が終ると直ぐにハーリーに移る。ハーリーはアガリ、ナカ、イリーの三組に分れ、一般、婦人、年代別でそれぞれ競われた。特に婦人ハーリーは黄色い声を張り上げ力強さがあり、住民は必死で声援を送っていた。ウンジャミの翌日は、五穀豊稔を祈って豊年祭が行われ、夜遅くまで華やいていた。古宇利島の長い夏もやっと終りに近付いた。

### ☆全国地域安全運動実施中☆

～期間 平成8年10月11日～10月20日の間～  
 “犯罪のない安全で住みよい社会を皆で作ろう”

警察では

防犯協会を始とする関係団体と地域社会における国民生活の安全と平穏の確保に資するため期間を定め、この間におけるそれぞれの地域安全活動を更に強化するとともに、地域安全活動のより一層の浸透と定着化を図り、地域における犯罪、事故、災害等の不安のない安全で安心して生活のできる地域社会の実現を図ることを目的として、全国地域安全運動を実施中です。地域の安全を保つことと、不安を無くするには地域の皆さんの協力が是非必要です。

- 事件を見たり、聞いたりしたら小さなことでもすぐ110番。
- 事件事故は気のゆるみから

連絡先 本部警察署生活安全課 47-4110(内線251)

### 秋の行政相談週間実施される

10月13日(日)～19日(土)

年金や保険などあなたの身近な苦情や要望を受け付けます。

### 行政相談所開設

村では、次のとおり相談所を開設し、総務庁長官から委嘱された行政相談委員が相談に応じます。

◎とき: 10月23日(水) 10時から16時まで

◎ところ: 村コミュニティセンター

行政相談委員は伊集 一隆さんです。

連絡先 ☎56-3745 (自宅)

### ■総務庁沖縄行政監察事務所の行政苦情110番■

☎098(867)1100 (夜間は留守番電話)

# 10月/神無月

## 村民カレンダー

1996年



10/1 火	○幼児ことばの教室(土・日・祝祭日除く毎日)(9:00~17:00コミセン) ○ティサービス(土・日・祝祭日除く毎日)(9:00~17:00コミセン)
2 水	○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○風しん予防接種(12:30~13:30コミセン) ○リハビリ教室(13:30~15:30)
3 木	
4 金	
5 土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン) ○第51回村陸上競技大会(やり投、ハンマー投、円盤投)(運動公園)
6 日	○第51回村陸上競技大会(村営グラウンド)
7 月	○区長会(14:00役場2階会議室)
8 火	
9 水	○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○リハビリ教室(13:30~15:30コミセン)
10 木	○体育の日
11 金	
12 土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン) ○学校図書館開放日(各小学校)
13 日	○村営保育所合同運動会(ホッケー場)
14 月	
15 火	○離乳食実習(13:00~中央公民館)
16 水	○牛セリ(セリ市場) ○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○リハビリ教室(13:30~15:30コミセン)

17 木	
18 金	○やんばるの産業まつり(20日まで)(名護市民会館)
19 土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
20 日	
21 月	○区長会(役場2階会議室)
22 火	○3才児健診(13:00~14:00受付コミセン) ○長距離月例会(17:30村運動公園)
23 水	○行政相談(10:00~16:00コミセン) ○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○リハビリ教室(13:30~15:30コミセン)
24 木	
25 金	○平和祈願祭(14:00~村慰霊塔)
26 土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
27 日	○老人婦人スポーツ大会(村営グラウンド)
28 月	
29 火	
30 水	○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○リハビリ教室(13:30~15:30コミセン)

### 第20回 沖縄の産業まつり

10月25日(金)~27日(日)

午前10時~午後8時

宜野湾市コンベンションエリア

### 編集後記



コバテイシ

■休みの日は家でゴロゴロするか山(?)に出かけ、ポールを打つぐらいいで、家庭サービなどなかなか。最近、上の息子が釣りに興味を持ち出した。「おとうさん、魚釣りに行こう」とせがまれる。「行けないよ。用事があるから」と逃げてばかり(釣りはあまりやったことがなく足が向かないから)。盆休み、東京の兄が帰省、幸いにも兄は大の釣り好き。息子は早速、釣りに行く約束をとる。釣り道具一式も買って貰い、従兄弟三人(下の息子二人が同行)を伴い近くの海岸へ。

その日はウンケー。午後八時頃、仕事を終えて帰って来るなり「おとうさん18匹釣ったよ、すごいでしょう」と得意気。食卓には小魚の揚げ物が山盛り。御先祖様もこちらそうに、私は早速、親子釣り入門を。